

「宮崎県後期高齢者医療広域連合地球温暖化対策計画」の実施状況について

○ 宮崎県後期高齢者医療広域連合地球温暖化対策計画

基準年度：平成28年度

計画年度：平成29年度から令和4年度（平成34年度）まで

目標年度：令和4年度（平成34年度）

削減目標：温室効果ガス排出量を2.4%削減（基準年度と比較した目標年度の減少割合）

○ 令和4年度温室効果ガス排出量状況

（単位：kg）

要因別の排出状況	①H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	②R4年度
事務所における電気使用	10,728.6	10,836.6	9,893.6	8,758.2	7,775.6	7,509.0	8,120.6
サーバー室における電気使用	49,614.5	49,178.9	74,498.7	48,430.5	43,961.6	41,516.8	45,792.9
事務所におけるガス使用	783.4	908.3	496.4	677.3	554.1	949.9	1,104.3
公用車によるガソリン使用	1,999.8	2,380.0	2,888.4	2,097.3	1,393.7	1,213.3	1,443.0
合計	63,126.3	63,304.6	87,777.1	59,963.3	53,685.0	51,189.0	56,460.8
基準年度からの増減率		0.28%	39.04%	▲5.02%	▲14.96	▲18.92	▲10.56

○ 削減目標への進捗状況 [令和4年度]

基準年度（平成28年度）との比較割合【②/①】 = 56,460.8kg / 63,126.3kg

= 89.44%（小数点第3位以下切り捨て）

基準年度（平成28年度）と比較して、10.56%削減

<分析と今後の取り組み>

今回の対象年度は、目標年度である令和4年度となっている。基準年度である平成28年度の温室効果ガス排出量を「令和4年度に2.4%削減」という目標に対し、「10.56%削減」という目標を大幅に上回る結果となった。

要因として、新型コロナウイルス感染症により会議等が中止になったことにより、電気量及びガソリン使用量が減少されたことが挙げられる。

また、計画への取り組みにより、職員の地球温暖化対策への意識が徐々に高まっており、事務所内の事務機器、電灯、冷暖房の使用削減の積み重ねが実績として表れているものと考えられる。

今後は、第2期宮崎県後期高齢者医療広域連合地球温暖化対策実行計画【事務事業編】に基づき、地球温暖化対策の取組を継続していく。